

第82回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

I. 日 時：2019年2月14日（木） 13時30分～18時00分

II. 場 所：東京大学 工学部 三号館 424 会議室

III. 出席者：青山(東大)、鈴木(MHPS)、倉富(東電FP)、原田(東芝)、長谷川(発電技検)、
逢澤(MHPS 日立)、飯田(東電HP)、幅野(IHI)、大橋(中電)、堀(関電)、
高内(神戸製鋼)

欠 席：水谷(東工大)、飯島(日溶協)、

代理出席：なし

オブザーバー：なし

事務局：原

IV. 配付資料

82-1 第81回溶接分科会議事録(案)

82-2 溶接分科会委員名簿

82-3 第86回火力専門委員会報告

82-4 第88回発電設備規格委員会議事次第

82-5 火力専門委員会書面投票 No.80(第Ⅲ章 ボイラ改訂提案)結果報告

82-6 規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 改訂提案)結果報告

82-7 用語集(映写)・・・今回はなし

82-8 規格委員会書面投票 No.399(第Ⅶ章)の意見対応と意見対応を反映した修正案

82-9 規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章)の意見対応

82-10 審議履歴表

82-参考 委員会のペーパーレス化について

V. 議事

1. 前回議事録確認

[資料 82-1]

前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。

ただし、以下の箇所は修正する。

- ・ V.3.(4) 第Ⅶ章 ボイラ → 第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量
- ・ V.3.(6) 第Ⅲ章 材料 → 第Ⅱ章 材料
- ・ V.4.(2) の意見 No.7 (3 → (3)

2. 分科会委員・役員の承認

[資料 82-2]

退任委員、新任委員候補、再任委員候補はなし。

3. 報告事項

(1)火力専門委員会報告

[資料 82-3]

11月26日開催の第86回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認

○第 81 回溶接分科会（11/7）の報告

- ・規格委員会書面投票 No.399 の書面投票意見対応再々対応案に関する審議。
- ・第Ⅶ章溶接施工法・溶接技量の書面投票の意見対応と対応案を反映した修正案の審議資料の確認。

○審議結果報告

- ・発電用火力設備規格での ALLOY141 の規格化が提案され、審議の結果 ALLOY141 の規格化を進めることと、本材料は許容引張応力値等が未策定であることから、材料専門委員会に許容引張応力値等の策定の依頼をすることが承認された。
- ・規格委員会書面投票 No.399（第Ⅵ章 非破壊検査 改訂提案）の意見対応状況の説明。
- ・火力専門委員会書面投票 No.77（第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 改訂提案）の意見対応について、意見対応案が了解され意見対応を反映した修正案が軽微な技術的な修正として承認された。
- ・規格委員会書面投票 No.410（第Ⅱ章 材料改訂提案）の意見対応状況の説明。
- ・火力専門委員会書面投票 No.76（第Ⅲ章 ボイラ）の意見対応による修正案について、あらたな追加修正箇所などについて説明があった。

(2)規格委員会報告

[資料 82-4]

12 月 20 日開催の第 88 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(11/26 開催)報告
- ・発電用火力設備規格詳細規定（201X 年版）Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 の改訂提案

(3)火力専門委員会書面投票 No.80(11/27～12/27)結果報告

[資料 82-5]

火力専門委員会書面投票：No.80 「発電用火力設備規格 詳細規定 第Ⅲ章ボイラの火専書面投票 No.76 の意見対応による修正案」の承認の火力専門委員会書面投票結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。意見対応は、1 月 8 日に完了。

(4)規格委員会書面投票 No.422(1/8 ～ 2/8)結果報告

[資料 82-6]

発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案の規格委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中。

(5)委員会のペーパーレス化

[資料 82-6]

昨年 11 月に開催された規格委員会幹事会において、委員会のペーパーレス化を進めていく方針が確認されたことが報告された。また、12 月 20 開催の規格委員会の午前中の部において、タブレット PC（画面 10inch 程度）を用いたペーパーレス化の試運用が行われたことが紹介された。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなし。

(2)規格委員会書面投票 No.399 の書面投票(第Ⅵ章改訂)の意見対応と修正案 [資料 82-8]

鈴木副主査から、資料に基づき3度目の意見対応の主要な内容と、1月25日に意見対応案が了解され意見対応が完了したことが報告された。

各担当委員が2月22日（金）までに、完了した意見対応案を反映して新旧対比表を見直しCSキャビネットの所定のフォルダ（以下に記載）に保存し、分科会三役に連絡する。今まで同様、意見対応を反映した修正箇所は青字・下線とし、該当する意見 No.を吹き出し等で青字にて記載する。

溶接分科会/05 201X 年版提案資料/第Ⅵ章/05_規格委 書面投票意見対応による修正案
/01_新旧対比表

3月1日開催の火力専門委員会にて、意見対応を反映した修正案の火力専門委員会書面投票実施を提案する予定。

(3)規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章改訂提案)の意見対応 [資料 82-9]

各担当委員が作成した規格委員会書面投票 No.422（第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂提案）の意見対応について、確認・審議を行った。

今回の審議結果を反映して、各委員が意見対応案を見直し分科会三役に送付する。取りまとめた意見対応案は、各委員確認後火力専門委員会三役確認後に意見者に回答する。

主な、コメント・確認事項は以下のとおり。

○意見 No.1

- ・溶接線と溶接軸を JSME 規格の中で使い分けているか確認する。

○意見 No.2

- ・今後配慮していく旨、回答する。

○意見 No.4

- ・第3者検査員は残し、補遺で第3者検査について説明する方針で対応案を作成する。

○意見 No.7

- ・火力の用語集によるものであることを説明。
- ・ASME 2013 年版の PART OG を確認する。

○意見 No.10

- ・(2)の「体積検査」は「体積試験」とする。

○意見 No.12

- ・これで問題ないことを回答する。
- ・必要により、補遺に説明を記載する。

○意見 No.13

- ・ご意見後半部分の JSME 火力規格での扱いについては、構造側で確認する。

○意見 No.16

- ・今回の改訂案からは JIS を削除して、次回改訂時に JIS 取入れ、判断基準の火技解釈取入れについて検討することで、対応案を作成する。

○意見 No.18

- ・補遺に注意喚起などを記載する。

○意見 No.26

- ・(2)の対応案を分かりやすく見直す。

○意見 No.27

- ・意見 No.8 の対応案の修正内容を踏まえて見直す。

○意見 No.31

公称化学成分が溶接金属の公称化学成分が→公称化学成分が溶接金属の公称化学成分と

○意見 No.33

- ・JIS 用語に合わせる。

○意見 No.36

- ・(1) 「溶接施工者」は「溶接施工業者」とする。

○意見 No.47

- ・原則、原文通りとすることを回答する。

○意見 No.73

- ・過去の経緯等を確認するが、UNS No は元に戻す方向で対応案を作成する。

○意見 No.76

- ・対応案(1)については、他の箇所についても確認する。
- ・対応案(2)については、次回改訂時検討とする。

○意見 No.78

- ・次回改訂時検討とする。

○意見 No.79

- ・本文については、原文に合わせて「表」、「図」は削除する。

VI. 次回開催予定

- ・日時：2019年4月15日（月） 13時30分～17時
- ・場所：東京大学工学部（本郷）

以 上